

文化人類学から 茶道を 見る

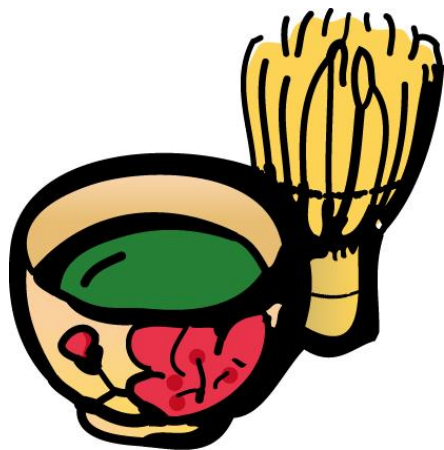
2016年 1月24日 (日)

午後2時～3時30分 (1時45分開場)

戦国時代より「男のたしなみ」だった茶道は、なぜいま「女性文化」になっているのか？ その背景には、「パワーを持ちたいが持てない」人々のために茶道が存在してきた歴史があります。

400年前、階層間のパワーゲームから生まれた茶道は、戦後には男女間のパワーゲームを反映するものになりました。

女性たちは、茶道を通して何を手に入れたのでしょうか？



男の茶道？
女の茶道？
戦国時代から現代まで

講師 加藤 恵津子さん

国際基督教大学 文化人類学教授

会場：港区立男女平等参画センター リーブラ2階 学習室C

対象：港区在住、在勤、在学の方、またはテーマに関心のある方

参加費：無料

定員：20名 (事前申込制 先着順)

12月11日 (金) 申込み受付開始

申込：リーブラ窓口・電話・FAX・Eメールで (裏面参照)

保育：定員あり (4ヵ月以上未就学児対象)、先着順 (保育申込締め切りは1月14日 (木))



マスコット・キャラクター
りぶら

*年未年始は、12/29 (火) から1/3 (日) まで休館とさせていただきます。

講師のご紹介

加藤 恵津子（かとう えつこ）さん

国際基督教大学文化人類学教授。慶應義塾大学で修士号を取得後、カナダ・トロント大学で博士号取得。専門は、文化ナショナリズム、海外から見た日本、若者の海外移動などをジェンダーの視点から研究。主著に『〈お茶〉はなぜ女のものになったか：茶道から見る戦後の家族』（紀伊國屋書店、2004年：英語版はRoutledgeCurzonより2004年）、『「自分探し」の移民たち：カナダ・バンクーバー、さまざま日本の若者』（彩流社、2009年）、『グローバル人材とは誰か』（仮題、青弓社、近刊予定）など。

FAX 03-3456-1254

《 FAX用 講座申込書 》 1月24日（日）開催
 リーブラ講座「男の茶道？女の茶道？～戦国時代から現代まで～」

ふりがな			港区在住・在勤・在学	年代
お名前			区外在住 (どちらかに○)	代
連絡先	電話（必須）：	Eメール：		
保育をご希望の方 1/14締めきり	ふりがな			1/24時点のお子さんの年齢
	お子さんのお名前			才 力月
	ご住所 (託児利用票を郵送します)	〒		

◎ 個人情報保護方針 リーブラでは、皆様からお預かりする個人情報に関して、お申し込みの講座運営 およびそれに関わるご連絡以外の目的には使用しません。また、皆様の個人情報を無断で第三者に提供することはありません。

申込方法

- ・12月11日（金）から、リーブラ2階窓口／電話／FAX／Eメールにて受付けします。
- ・FAXでのお申込みは、申込書に記入の上、送信してください。
- ・Eメールでお申込みの場合はメールタイトルを「【講座申込】男の茶道？女の茶道？講座」としてFAX 申込書と同じ内容を送信してください。
- ・FAX またはEメールの場合は、受信後、当方より確認の連絡をさせていただきます、受付完了といたします。
 3日以上経過しても返信がない場合は、電話にてお問い合わせください。（年末年始休館期間 12/29～1/3 を除く）



- ・JR「田町駅」東口（芝浦口）徒歩 5分
- ・地下鉄浅草線・三田線「三田駅」A6出口 徒歩6分
- ・ちいバス 田町ルート「勤労福祉会館前」徒歩7分
- ・ちいバス 芝浦港南ルート「芝浦一丁目」徒歩4分
- ・都営バス（田92・99）「田町駅東口」徒歩7分

申込・問い合わせ先

港区立男女平等参画センター リーブラ

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-16-1
 みなとパーク芝浦

TEL: 03-3456-4149 FAX:03-3456-1254

Eメール：libra@career-rise.co.jp



HPの講座情報ページ